

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】 ※…現地通貨ベース

		終値	10月13日比
インド	S&P・BSE500種指数	14,405.17	1.83%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,612.91	-0.29%
パキスタン	カラチ 全株指数	29,344.43	2.26%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	6,018.26	-0.76%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	10月13日比
インド	インドルピー	1.7476	1.47%
スリランカ	スリランカルピー	0.7403	1.79%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0785	1.63%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3747	1.23%

(出所：ブルームバーグ)

【インド：財務省、不良債権処理の解決に一策】

26日、S&P・BSE500種指数は史上最高値を更新しました。財務省がインドステイト銀行などの国有銀行に対し、約3.7兆円の資本注入を行なうと24日に発表することが好感され、銀行株が相場をけん引しました。インドでは不良債権が急増しています。財務省によれば、中小零細企業部門の2016年の不良債権額は2兆円を超えており、前年の倍に達しています。政府は破産関連法案を整備して企業の破たん処理を円滑に進め、不良債権問題の解決に道筋を付けたい考えです。今回の国有銀行への大規模な資本注入計画も、不良債権問題の解決に一役買うと推測されています。

【スリランカ：中国との関係強化】

30日、中国とスリランカの両国は会談を行い、相互協力を強化することで一致しました。中国の巨大経済圏構想「一帯一路」を通じたインド洋での影響力拡大の狙いが透けて見えます。同国南部のハンバントタ港は99年間、中国に譲渡する契約が締結されており、中国は同国を拠点とした海路拡充に、一層積極的な姿勢を見せ始めています。

【パキスタン：市場支援ファンドの設立を検討】

カラチ全株指数は、今年5月24日に史上最高値(36,234.20)をつけた後、政権の混乱や貿易赤字の拡大などを背景に20%程度下落を記録していましたが、政府による資本市場支援ファンドの設立が報じられ、反発に転じました。市場参加者による市場活性化会議では、支援ファンド設立のほか、キャピタルゲイン課税の軽減などが検討されていることが明らかとなりました。外国人投資家からは、政治的リスクに過剰反応したため、割安感を生じる水準まで売られたとの声も挙がっており、今後の相場展開が注目されます。

【バングラデシュ：貧困率が大幅に改善】

17日、バングラデシュ統計局は2016年世帯所得消費調査(HIES)で人口の24.3%が貧困層であると発表しました。2000年調査では48.9%、2010年調査では31.5%が貧困層でした。同国専門家は、20年で大幅な貧困率の改善が見られた一方で、改善ペースには鈍化の兆しがあると指摘しています。貧困撲滅に向け、より積極的な政策が求められています。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年6月1日～2017年10月27日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカー—



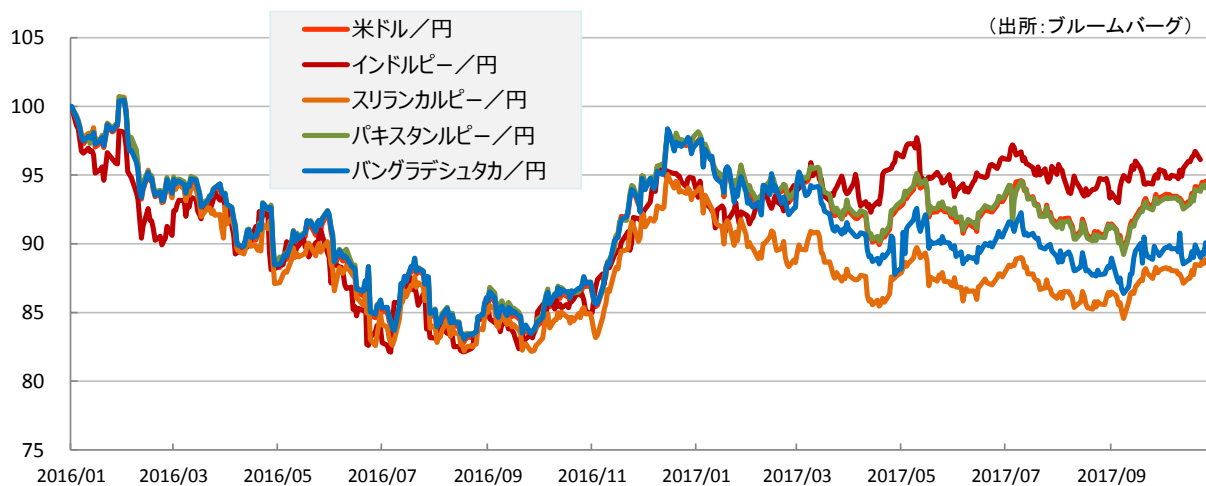
—パキスタン—



—バングラデシュ—

【為替の値動き】〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年10月27日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。